

教育だより

News for Education  
OITA

おおいた

<http://kyouiku.oita-ed.jp/>No.73  
2012  
SPRING

特集1

## 豊かな心を育む

道徳教育の実践

特集2

大分っ子の体力は？

## 小学生が過去最高値!!

新シリーズ

## 「大分の顔」

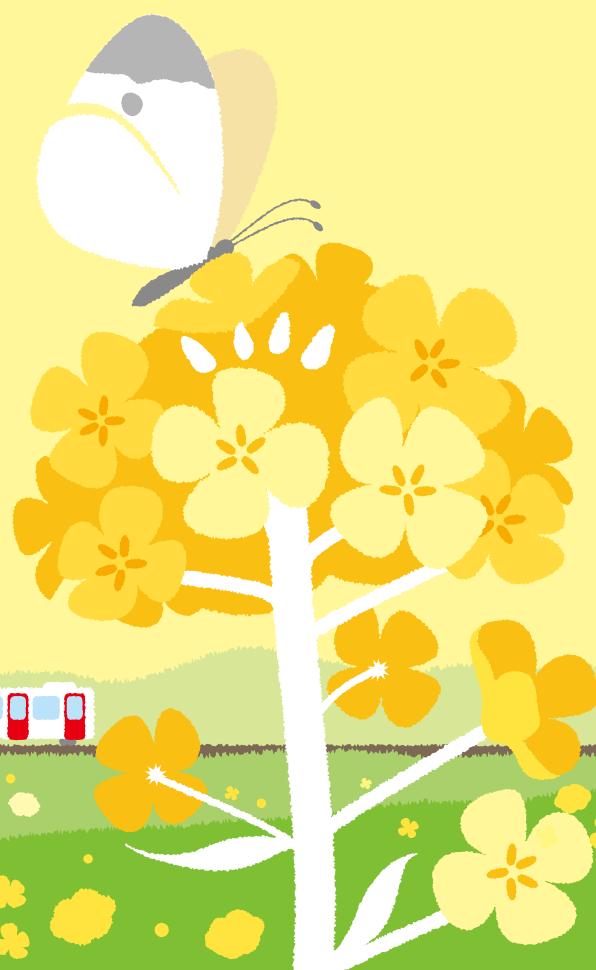
第1回 広瀬勝貞大分県知事

北部九州4県開催

## 「全国高校総合体育大会」他

お知らせ

## 各機関から「春」のお知らせ



編集・発行

大分県教育庁教育改革・企画課

大分市府内町3丁目10番1号

TEL097-506-5421

E-mail oitaed@pref.oita.lg.jp

平成24年3月1日

特集

豊かな心を育む

# 道徳教育の実践

東日本大震災で外国のメディアから高い評価を受けたのは、日本人の高い規範意識でした。被災地の人々が極限状態の中で見せた自制心や支え合う姿が、忘れかけていた日本人の道徳心を思い出させてくれました。一方で、老人に席を譲らず知らん顔をしている若者や、「ありがとう」の感謝の気持ちを素直に表現できない子どもなど、日本人が美徳としてきた道徳心がだんだん薄れているのではないかと、いった声もあります。

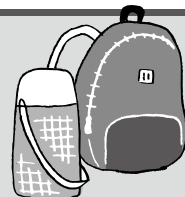
「知・徳・体のバランスのとれた教育が大事」と言われており、学校ではさまざまな活動の中で道徳心を培う取組を行っています。今回の特集では、学校でどんな道徳教育が行われているのか、Q & A形式で分かりやすくお伝えします。

## Q1 学校ではどんな授業で道徳心を培っているのですか？

A

**小・中学校では**…「道徳」の時間(週1時間)を中心に、各教科や総合的な学習の時間に加えて遠足や運動会の機会など、学校の教育活動全体を通じて道徳教育を行っています。

**高等学校では**…人間としての在り方や生き方に関する教育を、「公民科」やホームルーム活動などを中心にして、学校の教育活動全体を通じて行います。



## Q2 道徳の時間に、具体的にどんなことを学んでいるのですか？

A

小・中学校の9年間を見通して「基本的な生活習慣」「勤勉・努力」「生命の尊重」「郷土を愛する心」などの内容について、系統的・発展的に副読本(道徳資料)などを使って学んでいます。

具体的には、小学校では、「あいさつなどの基本的な生活習慣」「人間としてしてはならないことをしてはいけないこと」「集団や社会のきまりを守ること」、中学校では「主体的に社会の形成に参画すること」などを学びます。

### 道徳の授業の実践報告

ある小学校3年生の道徳では、東日本大震災後、運動場できちんと並んで待つ人々の姿を写した航空写真から、約束や社会のきまりを守るという道徳心を感じ取らせる授業が行われています。「もし並ばなかったらどうなるか？」など、雑然とした写真も提示しながら、問いかけるものです。お互いに生き残るためには、必要な物資を誰よりも早く、多く手



に入りたいという状況の中で、他人のことを思いやり、奪い合うことなく、公平に配られる物資をもらっていったという、世界からも絶賛された日本人の道徳心に気づかせる授業も行われています。

また、ある小学校5年生の授業では「千羽づる 誠実・明朗」という題材で授業をしました。主人公の洋子は、入院した友だちのために仲間たちと千羽づるを折る約束をする。しかし用事を優先させた洋子は鶴を折らず、具合が悪かったと嘘をつく。千羽づるを心から喜ぶ友だちや仲間の姿に、洋子はいたたまれなくなる。この教材によって、自分本位な言動を後悔している洋子の思いに迫らせ、嘘をつかないで誠実に明るく生活することの大切さに気づかせる授業も行われています。



# Q3 「道徳」の授業以外ではどうしているか？

**A** 例えば、遠足や修学旅行では、「仲間作り」や「集団行動」のあり方を学びます。また児童・生徒会活動では、他人の考えを尊重する態度を養うことができます。もちろん各教科でも、それぞれの教材を用いて「心の教育」を行う工夫が行われています。



さらに中学や高校では部活動があります。例えば、ひとつの楕円のボールをめぐる、激しくぶつかり合うラグビー。私たちは、グラウンドで展開される迫力と緊迫のゲームに興奮し、感動します。激しくボールを奪い合うフィフティーンが、レフェリーの笛で指示どおりに行動する。ルールを守る姿と互いを尊重し合う精神がここに 있습니다。

法やきまりはスポーツのルールと同じであることや、また試合が終われば、敵も味方もなくお互いを讃え合うノー・サイドの精神も部活動を通じて学んでいます。

## 教育活動全体で取り組む〈道徳教育の実践例紹介〉

玖珠町立塚脇小学校では、近隣の中学校や高校の

野球部員を招き、挨拶の手本を示してもらっています。模範的な挨拶を目の当たりにすることで、挨拶への意識が向上し、地域の方々や学校を訪れた外部の方からも賞賛されています。(写真右)

「礼儀」「掃除」「整理整頓」の3つを重点指導課題として、「子どもたちを変えよう、教職員も変わろう、そして、学校を変えよう」を合い言葉に取り組んだ結果、さまざまなことに自分から気づくようになったり、落ち着いて行動できるようになりました。



日田市立東部中学校では、清掃中、私語をする生徒は一人もいません。黙想をし、その日の清掃活動を振り返ります。(写真左)

給食の時間もそれぞれが係分担をきちんとこなしています。「時間を守る」「服装・身なりを整える」「場や相手に応じた言葉遣い」等の「凡事徹底」の取組を推進し、アンケートによる自己評価も行っています。例えばあいさつは「家族」「近所の人」「先生」等相手によって、それぞれ、A「きちんとできた」、B「ほとんどできた」、C「あまりできなかった」、D「ほとんどできなかった」で自己分析し、クラスごとに数値化することで目標達成を可視化する取組も行っています。

# Q4 家庭や地域社会がしなければならぬことは何ですか？

**A** 基本的なしつけはまず

家庭でなされるべきでしょう。まちがっていることは「まちがっている」と言えますか？本気でわが子を叱っていますか？昔は親に威厳がありましたし、地域社会にも怖いおじさんやいろいろと世話をやいてくれるおばさんがいました。子どもを見守り、温かくとりまくコミュニティがあったのです。学校だけでなく、家庭や地域社会との連携によって、子どもたちの豊かな人間性が育まれます。左記は道徳教材として使用している「心のノート」からの引用です。ご家庭で

お子さんと世の中のみまりについて考える機会を持ちましょう。



多様な価値観をもつ、さまざまな人々が  
**一人一人が厳守**

共に暮らす社会。だからこそ—  
**すべきものがある**

「心のぬし」(道徳)  
ひとをこらしめべからず  
けものむごころありあつかい  
むしけらむええきに  
ころすべからず  
ぬすみすべからず  
いつわるべからずうそを  
ついてひとのじまを  
すべからず

4 道徳教育の自由  
子どもたち自身が  
学びたいことを  
学べるように

「心のぬし」(道徳)  
虚言はいふ事は  
なりませぬ  
卑怯な振舞をしては  
なりませぬ  
弱い者といじめては  
なりませぬ

虚言はいふ事は  
なりませぬ  
卑怯な振舞をしては  
なりませぬ  
弱い者といじめては  
なりませぬ

歩 たとえぼうをついてしまつたと、そのことが「いつまでも気にかかる自分」がいるのはどうしてだろう。

どんな時代にも  
共通の規範が  
あった。

ひとをこらしめべからず  
けものむごころありあつかい  
むしけらむええきに  
ころすべからず  
ぬすみすべからず  
いつわるべからずうそを  
ついてひとのじまを  
すべからず



# 特集2

## 大分っ子の体力の現状は？

# 小学生が過去最高値!!

平成23年度大分県児童生徒の体力・運動能力等調査結果がまとまりましたのでお知らせします。

### 平成23年度大分県児童生徒の体力・運動能力等調査結果 (各テスト項目の県平均値と全国平均以上の項目)

性別	校種	年齢	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ	
			(kg)	(回)	(cm)	(点)	(数)	(秒)	(cm)	(m)	
男子	小学校	6	9.4	11.3	26.0	25.8	16.4	11.7	111.9	9.2	
		7	11.3	13.5	27.7	30.2	25.2	10.8	122.5	13.1	
		8	13.1	15.2	29.1	34.3	35.2	10.2	132.5	17.3	
		9	15.0	16.9	31.1	37.9	44.2	9.8	139.7	21.6	
		10	17.1	18.5	32.3	40.7	51.8	9.4	150.1	26.2	
	中学校	11	20.3	20.2	35.4	43.3	58.1	9.1	158.4	30.4	
		12	24.3	21.9	39.0	46.9	65.4	8.7	175.6	18.9	
		13	29.5	24.6	40.4	49.4	81.0	8.1	191.7	21.7	
		14	35.1	27.1	44.4	51.4	86.1	7.7	207.5	24.4	
	高等学校	15	38.5	27.8	46.5	53.7	76.5	7.7	213.0	23.8	
		16	40.8	30.3	48.3	55.6	89.4	7.5	220.3	25.1	
		17	42.9	31.2	50.4	56.5	87.1	7.4	225.9	25.9	
	女子	小学校	6	8.7	11.1	28.1	25.2	14.1	12.0	104.3	6.2
			7	10.5	12.5	30.3	29.0	19.4	11.2	113.0	8.3
			8	12.1	14.1	32.0	32.5	24.6	10.6	123.7	10.3
			9	13.9	15.6	34.0	35.4	32.0	10.1	130.3	12.9
			10	16.6	16.9	36.6	38.2	37.4	9.7	140.7	15.3
中学校		11	19.8	18.0	39.4	40.4	43.1	9.4	147.9	17.7	
		12	21.6	18.1	42.0	42.5	45.6	9.2	155.2	12.7	
		13	23.7	20.5	42.2	43.8	53.1	9.0	163.0	13.7	
		14	24.5	20.8	43.9	44.1	53.1	9.0	164.7	14.3	
高等学校		15	24.8	19.4	44.0	43.4	43.5	9.3	160.1	13.2	
		16	25.8	21.7	45.3	44.6	47.7	9.3	163.6	14.0	
		17	26.7	22.0	47.0	45.3	48.5	9.2	167.2	14.2	

■は、県平均値がH22全国平均を上回るもの、もしくは有意差が見られないもの(P<0.05 ウェルチ検定)

調査時期 平成23年5月～9月

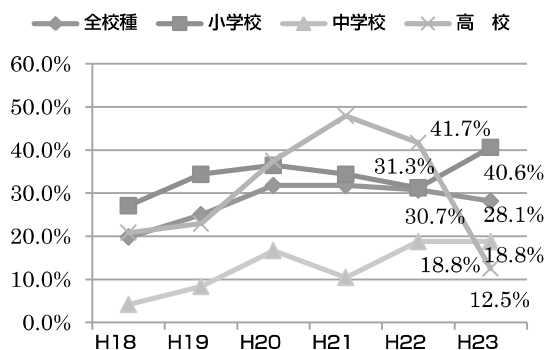
調査対象 小学校301校 (59,890人)  
中学校67校 (14,600人)  
高校25校 (9,752人)

\*小学校は全員対象、中学校・高等学校は2分の1の学校を抽出調査

### 調査結果の概要

- 大分県の平均値が全国平均(H22)以上である項目の割合(以下「達成率」という)は28.1%(54/192項目)であり、昨年度に比べると2.6ポイント(5項目)低下しました。
- 学校種(小中高)別の達成率は、小学校40.6%(過去最高)、中学校18.8%(昨年並み)、高校12.5%(大幅ダウン)でした。
- 種目別の達成率では、ボール投げ75.0%(18/24)、長座体前屈54.2%(13/24)、握力50.0%(12/24)が他の種目に比べ高く、これらは、大分県の児童生徒が強い種目と言えます。
- 昨年度の調査と比較すると、192項目中120項目で平均値が上昇しました。

### 達成率の推移

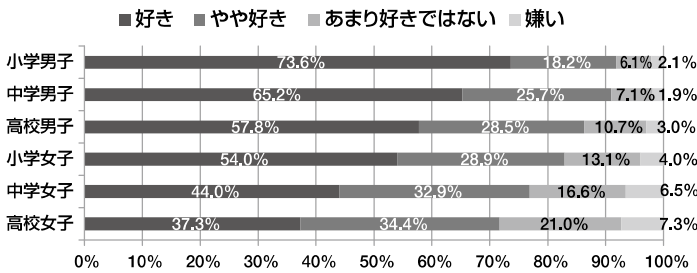


### 調査結果から考えられること

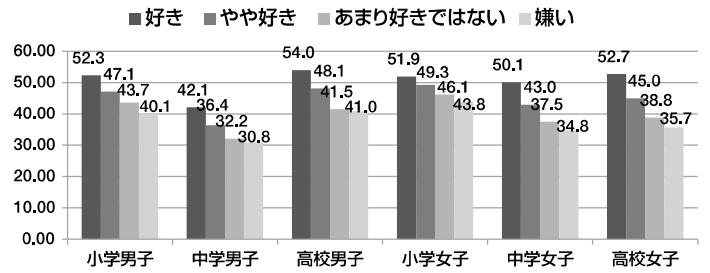
- 小学校の達成率が過去最高となった要因としては、体育専科教員の配置等体力向上の取組の成果に加え、子どもの体力向上に向けた意識が学校や家庭・地域で高まり、様々な取組が行われるようになったことなどが影響していると考えられます。
- 高校生の達成率が大きく低下したことについては、大分県以上に全国が伸びたことや低体力層の生徒の割合が高いこと、また部活動加入率の低迷(九州ワースト2位)などが要因として考えられます。
- 種目別では、大分県の児童生徒は得意・不得意のテスト項目がはっきりしていることから、テスト項目と授業内容を関連づけながら、授業における準備運動や主運動として取り組むなどの工夫が必要です。

## 生活習慣調査から

### 運動の愛好度



### 運動の愛好度と体力合計点の関連



1

アンケート調査による運動やスポーツの実施頻度・実施時間、運動部活動やスポーツクラブへの所属、運動への愛好度と体力合計点にはそれぞれ相関関係が見られました。

2

「運動の愛好度」では、小中高と上がるにつれ、「あまり好きではない」「嫌い」と回答する児童生徒の割合が増加し、特に女子でその傾向が顕著です。

3

「運動の愛好度」と「体力合計点」との関連については、男女とも小中高すべてにおいて、運動への愛好度が高いほど体力合計点が高くなる傾向が見られました。

## 指定校では「楽しい体育で体カアップ」

### 運動の日常化・習慣化に向けて!

現在、県教育委員会では「大分元気っ子体力パワーアップ事業」として、「体育専科教員活用推進校」や「小・中学校体力向上推進校」による体力向上の取組を行っています。

指定校では、体育授業の工夫改善に加え、「スポーツ鬼ごっこ」を全校で取り組んだり、「ボール投げ名人になるう」などの月間目標を設定したりするなど、休み時間を活用した体育的活動が行われています。

昨年の指定校では、こうした取組を行った結果、県全体の達成率を大幅に上回る成果が報告されています。

平成22年度指定校の実績  
県全体の達成率30.7%  
のところが

体力向上  
実践校  
73.6%

体育専科教員  
活用モデル校  
81.3%



大分市立明野東小学校



竹田市立南部小学校

## 学校では指定校の取り組みを「点から面へ」

### 運動好きな子どもを増やそう!

1

低体力層の児童生徒の割合は、全国との比較が可能な小5と中2では、男女ともに全国の割合を上回っていることから、体育・保健体育の授業では、低体力層の児童生徒が積極的に活動できる取組の工夫が重要です。

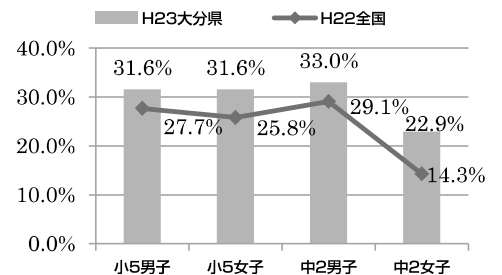
2

低学年段階からいろいろな運動を楽しく経験させることなどにより、運動好きな児童生徒を増やしていくことが、体力向上に向けた重要な課題の一つです。

3

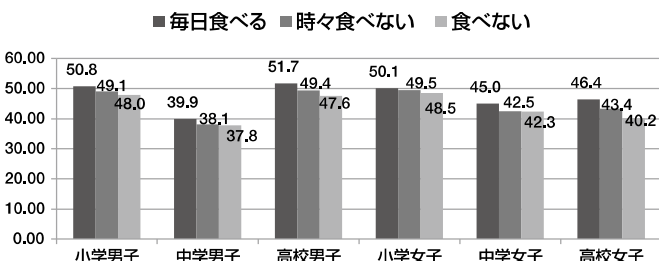
平成23年度からは、各都市に「体育専科教員活用推進校」や「小・中学校体力向上推進校」を指定しています。各都市において、指定校の取組内容を共有するとともに、その取組を近隣校や地域に広げていくことが期待されます。

### 低体力層の児童生徒の割合



## 家庭の役割 生活習慣の確立が大事

### 朝食の摂取状況と体力合計点の関連



## 朝食を食べよう!!

男女とも小中高すべてにおいて、朝食の摂取率が高いほど体力合計点が高くなる傾向が見られました。毎日の朝食の摂取をはじめとする生活習慣の確立は家庭の役割として非常に重要です。

## 学力と体力はつながっている!?

国の調査では、体力と生活習慣、学力と生活習慣には相関関係があることが示されています。県の調査でも、体力水準の高い市町村は学力水準も高い傾向が見られました。

子どもたちが「生きる力」を身につけるには、生活習慣を確立させ、体・徳・知のバランスを取ることが必要です。



シリーズ  
第1回

# 「大分の顔」



## 広瀬勝貞 大分県知事

昭和30年(1955)	日田市立月隈小学校卒業
昭和33年(1958)	千代田区立一ツ橋中学校卒業
昭和36年(1961)	麻布高校卒業
昭和41年(1966)	東京大学法学部卒業
昭和41年(1966)	通商産業省(現・経済産業省)入省
平成11年(1999)	通商産業省事務次官
平成13年(2001)	経済産業省事務次官
平成15年(2003)	大分県知事当選就任
平成22年(2010)	九州地方知事会会長就任

### 知事はどんな子どもでしたか?

#### わがままで、内弁慶

一口に言えばあまりいい子ではなかったですね。家庭の中ではよくわがままでと言われてました。そのかわり案外外に出るとおとなしくて、内弁慶と言われてました。小学1年生の初め頃は学校に行くのが嫌でね、よく母親に手を引っ張られて行ったものです。

家でわがままに育っていたものですから、学校より家の方が快適ということがあったんでしょうね。別にいじめっ子がいたというわけでもないんだけど(笑)

### その後はどうだったのですか?

#### 東京で中1ギャップ

しかし時が経つにつれて学校にも慣れてきて、後は楽しい小学校生活を送りましたね。今で言う中1ギャップというのがありましてね、小学校を卒業して、父親の仕事の関係で、東京の学校に通うことになったんだけど、すばらしい日田という故郷を離れて、とんでもない東京という所に出ていったものだから、ずいぶんホームシックになりました。自信もなくなるし、やる気も起らないし、今考えると母親にずいぶん心配をかけたんだろうなと思いますね。

### どうやって克服したのですか?

#### 母親のおかげ

母親が我慢強くつきあってくれたということもあるでしょうし、中学生なりにこのままでは自分



子どもたちに夢や希望を持ってもらうため、大分県出身の各界著名人にインタビューする新シリーズ「大分の顔」。

この企画は、「大分県教育庁チャンネル」との共同で行っています。インタビューのまようをぜひ動画でもご覧ください。大分県教育委員会のホームページからアクセスできます。携帯電話やスマートフォンからもご覧いただけます。(http://kyouiku.oita-ed.jp/)

第1弾は広瀬勝貞大分県知事に登場してもらいました。

## INTERVIEW

がだめになると考え始めて、立ち直っていったのではないのでしょうか。勉強もだんだん面白くなってきたし、それも励みになったんでしょうね。

他に支えになったことはありますか?

たくさんの本や日田の友達かな



僕には大変読書の好きな弟がいて、その影響(笑)でよく本を読んでいた。いろいろな本を読んだ気がします。「インソップ物語」とか「宝島」とか、「トムソーヤの冒険」とかを読みました。小さい頃故郷の山や川で友だちと遊びまわった経験も、その後、自分自身を成長させるのに良かったと思いますね。夏休みなどの長期休暇に必ず故郷(日田)に帰ってましたね。友だちがたくさんいて、ずいぶん元気になりました。やはり故郷の自然にも友だちにも愛着がありますね。故郷があつてよかったなと思いますね。



小学生のときを描いた大原神社の放生会

子ども時代のことで一番役立っていることは何ですか?

悩んだことですね

今思えば、中1の時にホームシックやら、自信をなくしたり、悩んだり、また親にも迷惑をかけた時代があったからこそ、かえって高校でなんとかしなきゃと考えました。そういう意味で私にとって中1ギャップはよかったかなと思っています。子どもってやはり悩むもので、それが大事だなと今になって思います。悩むということは決して無駄なことではない。成長の過程で通らなければならないし、自分なりにどうするか考えて、立ち直ることが大事です。将来自分がどうなるかを考えることも励みになります。

子どもの頃、どのような夢を持っていましたか?  
市長になるんだろうな

小さい頃、父親が市長をやってましてね、自分も市長になるんだろうなと小さいながらも思っていましたね。みんなから慕われて、みんなのために仕事ができるというのはいいことだなと思ったのかもしれないね。

人のために仕事を

中学で自分自身のことで悩んだけど、高校になったら自分は立ち直らなければと思い、いろいろ本を読んだり、勉強したと思いますね。先生も良かったな。そういうなかで、人のために仕事をすることは大事なことだと思い始めました。

父親が今度は国会議員になりましたから、大学受験の頃には国の関係の仕事に就いてみたいと思うようになっていました。

大分の一番いいところは何でしょう?

自然と食べ物と産業

1つは、美しい山、里、海、自然に恵まれた環境ですね。2つ目は、海の幸、山の幸、食べ物がおいしいことですね。3つ目は、製鉄、造船、化学、自動車、精密機械など、産業の拠点があることですね。そんな自慢できる大分に自信を持ってほしい。これほどいいところだと気づいたのは私もここ10年くらいですけど。

最後に未来の大分を担う子どもたちに伝えておきたいメッセージをお願いします。

自信を持ってチャレンジ 人には優しく

いろいろなことに失敗を恐れず自分には自信を持ってチャレンジ、そして人には優しく、思いやり深い人間になることが一番大事です。母親からよく言われていた言葉は「井の中の蛙大海を知らず」です。自分の世界が全てだと思っているが、一歩外に出ると、いろいろな世界があるし、まだまだ学ばなければならない人はたくさんいるんだという意味で「井の中の蛙になるな」とよく言われてましたね。母親の励ましの言葉だったのかもしれない。今でもいい言葉だなと思いますね。

どうもありがとうございました。



# ネットいじめに関する相談はこちらへ!

県教育委員会では、公立の全中学生・高校生を対象に「ネットいじめ相談窓口」案内カードを配布し、メールでのネットいじめ相談を受け付けています。ネットいじめとは、携帯電話やパソコンを通じて、インターネット上の掲示板などに、特定の子どもの悪口や誹謗・中傷を書き込んだり、他人になりすまして悪意のあるメールを送るなどの方法により行われるいじめです。

インターネットの持つ匿名性から、安易に誹謗・中傷の書き込みが行われ、子どもが簡単に被害者にも加害者にもなり、深刻な事態に発展しやすいことに加え、個人情報や画像が悪用される被害の拡大も心配されます。



ネットいじめで苦しい思いをしていませんか? 一人で悩まずメールで相談してみませんか?

メールアドレスは、no-ijime@pref.oita.lg.jpです。ネットいじめ以外にもトラブルの相談を受け付けています。

~家庭で眠っている本をみんなで活用しよう!~

# 寄贈図書システム「みんなの本ネット」がオープンしました!

県民の皆さまから、県内の学校や図書館へ本を寄贈していただくためのシステム「みんなの本ネット」がオープンしました。まだ新しい本、大切にしてきた本を捨ててしまうのはもったいない……。そんなときは、ぜひ「みんなの本ネット」をご利用ください!!

「みんなの本ネット」(<https://www.minnanohon.net/citizen/>)は県立図書館HPからアクセスできます。主な機能は2つあります。

- 1 寄贈したい本の情報を登録できます**
  - ①登録フォームから寄贈したい本の情報や寄贈者の連絡先等を登録
  - ②登録された情報を学校や図書館等で確認
  - ③登録された本を必要とする学校や図書館等から寄贈者に直接連絡
- 2 学校・図書館等がリクエストした本を寄贈できます**
  - ①学校や図書館等がリクエストした本の情報を公開
  - ②リクエスト本の中に寄贈できるものがあれば、希望する学校や図書館等に直接連絡

県立図書館 企画・資料課 TEL.097-546-9972(代表)

# 「2013 未来をつなぐ 北部九州総体」 ~高校生の力で成功させよう!~

開催期間 / 平成25年7月28日(日)~8月20日(火)  
総合開会式 / 平成25年7月28日(日) 大分銀行ドーム

全国高等学校総合体育大会(通称:インターハイ)では高校生が競技補助員として大会をサポートします。平成25年度の北部九州総体開催に向け、各種養成事業がスタートしました。

1月に実施されたバスケットボール競技の競技役員等養成事業には、大分市内の高校生約100名が参加し、2日間にわたってテーブル・オフィシャル(審判の補佐をして試合を管理する業務)及びフロアー・ワイパー(試合中にモップかけをする業務)等の講習を受けました。

インターハイは、高校生が最大の目標としている大会です。みんなで力をあわせて最高の舞台をつくりあげよう。

①②③④



## インターハイでペーパーテスト!?

竹田市で開催される登山競技。登山といえば山を登るだけだと思いませんか? 実は自然観察・救急知識・気象知識・天気図のペーパーテストがあります。「登山技術・体力・知識がどれだけ身に付いているか」という観点から総合的に審査され、競技順位が決定されます。



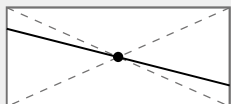
前号(冬号)P.4

## 教育長エッセイ「はんぶんこする」の解答

2等分する直線を見つけるためには、まず、次の考え方が基本となります。

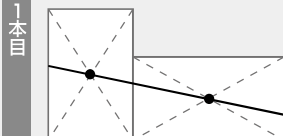
(基本となる考え)

長方形の面積は、2本の対角線の交点を通る直線で2等分される。

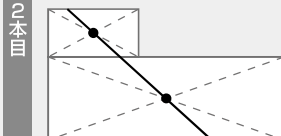


この考え方をもとに見つけてみましょう。

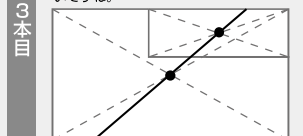
図のように2つの長方形に分けて、それぞれの長方形の対角線の交点を求めます。2つの交点を通る直線が求める直線です。



今度は長方形の分け方を変えてみます。考え方は1本目と同じです。



1本目、2本目は見方を少し変えます。右上の部分に欠けている長方形の対角線の交点と、欠けている部分の長方形の対角線の交点を結びます。これは難しいですね。



以上3本です。みなさん、見つけることができましたか?

## 豊の国情報ライブラリー三館合同展 「大分のアーカイブズ・資料にみる大分の災害」

過去の災害を知ることで、  
これからの災害に対する備えのヒントにしてください。

県立図書館・公文書館・先哲史料館が所蔵する  
過去の大分の災害に関する資(史)料を展示します。  
先哲史料館展示室(豊の国情報ライブラリー1F)



寛保3年雨内城下大火絵図



明治29年～41年災害一件

- 期 間 / 3月20日(火)まで
- 開館時間 / 9:00～17:00
- 休 館 日 / 月曜日
- 観 覧 料 / 無料
- 問合せ先 / 大分県立図書館 TEL.097-546-9972
- ※3月10日(土)13:30から、先哲史料館の平井館長による  
「史料にみる大分県の地震・津波」の講演会を開催します。(無料)

## デジタルプラネタリウム一般公開 JAXAコスミックカレッジ&プラネタリウム一般公開

※コスミックカレッジとは、好奇心や冒険心を備えた創造的な青少年の育成を目的とした教育プログラムのことです。

早春の香々地で親子いっしょに、プラネタリウムの鑑賞とコスミックカレッジに参加してみませんか。今回のコスミックカレッジのテーマは「飛ぶ科学」かさ袋ロケットを作成します。

コスミックカレッジは、各回先着10名です。電話予約が必要です。



昨年O-LABOで実施したときの様子

- 日 時 / 3月17日(土)①13:00～②15:00～ 3月18日(日)①13:00～②15:00～
- ①13:00～ プラネタリウム鑑賞
- 14:00～ コスミックカレッジ かさ袋ロケット作成
- ②15:00～ プラネタリウム鑑賞
- 観 覧 料 / 中学生以下無料 高校生110円 一般220円
- ※県外の中学生以下110円
- 申込み先 / 大分県立社会教育総合センター香々地青少年の家 TEL.0978-54-2096

※プラネタリウムは、約45分程度です。鑑賞の後または前にコスミックカレッジをお楽しみください。

## 第8回ふれあいキャンプ

不登校傾向の子どもたちを対象にした「ふれあいキャンプ」を開催します。当日は、臨床心理士の先生も参加しますので個別相談も可能です。保護者の方のみの見学もできますのでぜひご連絡ください。



手つなぎ鬼



花火作り

- 日 時 / 3月10日(土)13:00～3月11日(日)13:00
- 内 容 / ●手話教室 ●花炭焼き ●くんせいづくり ●レクリエーション(天候により活動内容が変更されることがあります。)
- 対 象 / 不登校傾向が見られる小中高生とその家族や友人
- 参 加 料 / 小中高生 2,500円、保護者3,500円(予定)
- 募集期限 / 3月5日(月)まで
- 申込み先 / 社会教育総合センター香々地青少年の家 TEL.0978-54-2096

## 企画展「赤羽刀ーよみがえった名刀ー」

平成11年、県立歴史博物館は文化庁から「赤羽刀」と呼ばれる刀剣類110振の譲与を受けました。

第2次世界大戦の終結直後、連合国軍総司令部(GHQ)は、日本の武装解除政策の一環として国民から刀剣類を没収しました。関東地方で没収された刀剣類は、現在の東京都北区赤羽にあったアメリカ軍施設に一時保管されました。この一部が、日本に返還され、「赤羽刀」と呼ばれて今日まで残っているのです。

本展では、これまでに研磨が完了した郷土の赤羽刀50振余りを一堂に展示するとともに、文化庁が所蔵する赤羽刀のなかから、選りすぐりの名刀17振を初公開します。

- 期 間 / 2月3日(金)～3月18日(日)
- 開館時間 / 9:00～17:00(入館は16:30まで)
- 休 館 日 / 月曜日
- 観 覧 料 / 中学生以下無料 高校生・大学生150円 一般300円
- 問合せ先 / 大分県立歴史博物館 TEL.0978-37-2100

短刀「正宗」(文化庁所蔵)



## おおいた夢展覧会プロジェクト「みんなで作る展覧会」

昨年度の「みんなで作る展覧会」会場風景



今年度、芸術会館は大分県内の小中学校、高等学校10校で出前鑑賞授業を実施しました。およそ500人の児童・生徒たちが芸術会館所蔵品を使った展覧会づくりに挑戦しました。今回の「みんなで作る展覧会」は、こうした出前鑑賞授業をもとに提案された企画案の中から、日田市立若宮小学校と大分舞鶴高校の企画案をもとに、実際の所蔵品を展示して、ご紹介いたします。こどもたちのギャラリートークもお見逃しなく。

- 会 期 / 3月27日(火)～4月8日(日)
- 開館時間 / 9:00～17:00(入館は16:30まで)
- 休 館 日 / 4月2日(月)
- 観 覧 料 / 無料
- 内 容 / ①日田市立若宮小学校企画  
「宇治山哲平～わたしたちのタイトル展」(仮題)  
※宇治山哲平作品に児童のオリジナル・タイトルをつけて展示。  
わかりにくいと言われがちな宇治山の抽象作品を既成概念にとらわれず、こどもたちの言葉で紹介いたします。  
ギャラリートーク / 3月27日(火)
- ②大分舞鶴高校企画  
「現代社会とわたしたち」(仮題)  
※現代の様々な問題について、同時に私たちの理想の生きかたとは何なのか、協力、復興などを表していると思える作品を展示し、改めて考えてみる場にした。  
ギャラリートーク / 3月27日(火)・4月7日(土)
- 問合せ先 / 大分県立芸術会館 学芸課 TEL.097-552-0820